

「新たなジョブローテーションの実施から1年、本人希望重視し、経験労働に基づく安全・技術継承・働きがいを勝ち取る部会集会」開催！！

運車部会は4月21日に労使会館3F ホールにおいて「新たなジョブローテーションの実施から1年、本人希望重視し、経験労働に基づく安全・技術継承・働きがいを勝ち取る部会集会」開催し48名が参加しました。集会では実施から1年経過の検証として施策導入の目的と交渉の経過、この1年間運輸職場におけるジョブローテーションによる乗務員の動き等を参加者全員で確認しました。

その後本部鈴木書記長より①21春闘の回答を受けて②変革2027と21年度グループ年次計画③コロナ禍による新たな働き方を求めて④JR東日本会社が目指す方向⑤今後のたたかいについて質問形式での問題提起をしていただきました。参加者からは「ジョブローテーション転勤はただの転勤ではない」「今後出向が増えそうで怖い」「昇給係数4から2はコロナだけが理由出ないことが分かった」等の意見が出されました。

会社は今後コロナを理由に様々な施策を打ち出してくると思われそうですがあくまでも変革2027を粛々と進めているだけであり、寧ろ今年度黒字に向けてスピードが早まったと言えます。運車部会は施策一つ一つを検証し、業務問題を通じ会社と対峙していきます。



**全ての職場の仲間が働きがいを感じ、将来設計が出来るようにひがし
労はたたかいます！！**

